

# 市が七条地区に固執するクリーンセンター

## 建設反対の請願を採択

市は老朽化した現在のごみ焼却施設(左京)を移転させ、新たなクリーンセンターを建設する計画を持っています。市は大和郡山市など近隣市町と共同で運営していく「広域化」を目指し、七条地区への建設を検討してきましたが、近隣市町の相次ぐ離脱により奈良市単独で建設・運営しなければならぬ状況になっています。



それでも市は七条地区への建設に固執。隣接する大和郡山市の九条地区にあるごみ焼却施設Ⅱ写真Ⅱの煙突と2つ並んだ形で建設を

押し進めようとする市の計画に私は「浸水危険地域で産を有する七条地区へ建設

する大義はない」と市の手法を批判しています。今年度は地元自治会などから、七条地区にクリーンセンターを建設することに反対する請願が市議会に複数提出されました。市議会は審査の結果、これら反対の請願を採択しました。

### 鼓阪・佐保小学校統廃合

## 天井なしの予算に反対

鼓阪小と佐保小を統廃合し「全国のモデルケース」とする新校舎建設は、市は本年度、総事業費(51億円)に追加の予算を再三にわた

す必要があるのか疑問」と追加を認めませんでした。奈良市は将来的な人口減少などを見据え、既存の公共施設の統廃合を検討しており、児童数の少ない市立鼓阪小学校と市立佐保小学校を統廃合し、現在の佐保小を解体して新たな校舎Ⅱパ

イス参照Ⅱを建設する計画です。市議会は今年度3月、総事業費約51億円を認めまし



たが、その後の入札で不調。市は「建築資材の高騰」と説明し、9月に12億円もの追加を求めましたが市議会はこれを否決。さらに12月議会では、空調設備の数やオーダーメイドの家具を既製品にするなど見直してコストを削減し、総事業費に9億円を追加する議案を再び提案しました。しかし、贅沢で華美な作りに変わりがなく、これも議会では認めず、私が所属する自民党会派をはじめ、他3会派が同調し追加予算を削除する修正案を提出し、当初の計画通り51億円を上限に早期に建設することを求めました。

## 学校行事や地域活動へ

## 積極参加



### 地域での活動

▶ 絵本の読み聞かせ



▲ 都跡小学校ブラスバンド部のクリスマス演奏会。顧問として応援



▶ 都跡小地域探偵団の見守りボランティア活動



▶ 市民スポーツ大会ウエイトリフティングの部連続出場記録更新「38回目」